

1/17
朝日

警報ない津波 再評価を要求

高浜原発 規制委、関電に

インドネシアで昨年12月に起きた火山噴火に伴う津波を受けて、原子力規制委員会が16日、関西電力高浜原発（福井県）の津波対策を再評価するよう求めることを決めた。関電は津波警

報が出ることを前提に対策を定めていたが、警報が出ない場合にも設備の安全が確保できることを確かめるよう求めている。関電は高浜原発での最大の津波について、沖合での

地震と海底で起きる地滑りが重なった場合を想定。その対策として、大津波警報が出た際に海水を取り込む取水路の門を閉めることで敷地内への浸水を防ぐとしていた。規制委は関電の対策を妥当と判断し、3、4号機が再稼働した。

だが、インドネシアのスンダ海峡で起きた津波は噴火による山体崩壊が原因とみられ、津波警報は出されなかった。地震が起きずに海底地滑りが単独で起きる場合などでは、津波が生じても警報が出ないこともあるという。

規制委によると、他原発では、津波警報によらない対策をとっているか、地震以外で起きる津波による敷地への影響が無視できるという。

（川田俊男）